

## 1. 戦略の策定趣旨

- コロナ禍による様々な影響を踏まえ、経済や府民生活へのダメージを最小限に抑えるために緊急的に取り組むべきもの、さらには、コロナ終息を見据え、大阪の再生・成長に向けて取り組むべき方向性を明らかにする、新たな戦略を大阪府・大阪市において策定。
  - この戦略により、大阪の再生を確たるものとし、さらなる成長につなげるとともに、その取組みの成果を、2025年の大阪・関西万博の成功、SDGsの達成へとつなげていく。
  - そして、日本の成長をけん引する東西二極の一極として、府市一体のもと、世界に存在感を発揮する「副首都・大阪」を確立・発展させていく。

## 2. 新型コロナの感染拡大の影響と新たな潮流（主なもの）

経済や社会・暮らし、東京一極集中リスクの観点から、コロナがもたらした影響や新たな潮流を分析

	主な影響	新たな潮流
①経済 (産業・雇用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇実質成長率の大幅な低下予測</li> <li>◇インバウンド需要の消失、宿泊、飲食業等を中心とした国内消費の減少</li> <li>◇雇用環境の悪化 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ECの拡大など消費行動の変化</li> <li>◆テレワークなど働き方の変化</li> <li>◆ポストコロナを見据えた成長産業</li> <li>◆国際金融体制・市場の変化 など</li> </ul>
②社会・暮らし	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇所得の低下</li> <li>◇社会的つながりの喪失や児童虐待、自殺者の増加等の懸念</li> <li>◇長期間の休校 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆社会全体のデジタル化の加速</li> <li>◆新しい生活スタイルや意識の変化</li> <li>◆健康意識の高まり</li> <li>◆国際的なグリーンリカバリーの議論 など</li> </ul>
③東京一極集中リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇東京一極集中のリスクが顕在化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆東京一極集中リスクの是正議論の活発化</li> <li>◆東京から人口流出</li> </ul>

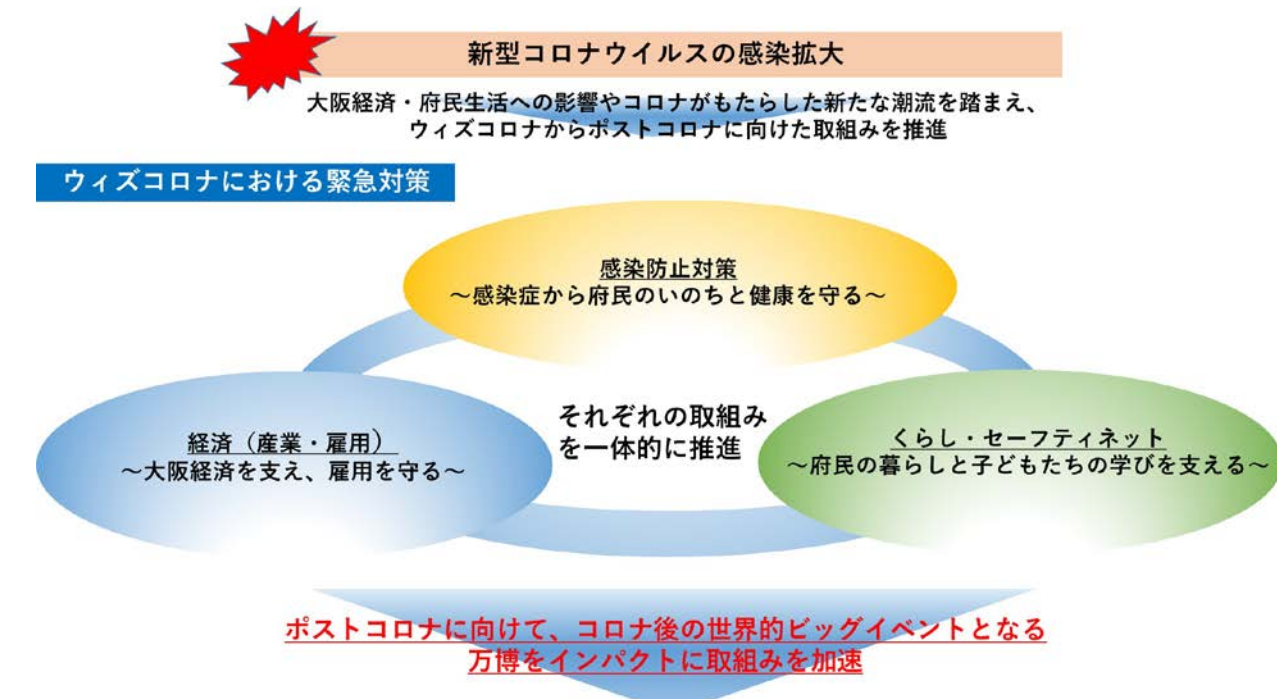
## 4. 戦略の目標

大阪の再生・成長に向けて、目標となる指標を設定。目標年2025年（一部を除く）

- 実質成長率** ➡ ・2022年度に府内総生産（実質）をコロナ前の水準に戻す。  
・それを踏まえ年平均2%以上
- 内外からの誘客** ➡ ・「大阪都市魅力創造戦略2025」の策定をもって、設定
- スタートアップ創出数** ➡ ・300社創出（うち大学発100社）（2024年）
- 雇用創出数** ➡ ・2022年度にコロナ前の水準に戻す。2022年度以降、年平均2万人以上
- 府内への転入超過数** ➡ ・生産年齢人口の転入超過数 年1万人以上

## 3. 取組みの方向性

- ウィズコロナでは、感染防止対策を講じつつ、経済の落ち込み、府民生活への影響を最小限に抑える。
- 大阪の再生・成長を図るため、ポストコロナに向けて5つの重点分野を中心とした経済成長面からの取組みに加え、くらし、安全・安心の取組みを推進。



### ポストコロナに向けた再生・成長

【経済】5つの重点分野から取組みを推進し、さらなる成長へ

- ①健康・医療関連産業のリーディング産業化
- ②国内外の観光需要の取り込みの強化
- ③スタートアップ、イノベーションの創出
- ④新たな働き方等を通じた多様な人材の活躍促進
- ⑤国際金融都市の実現に向けた挑戦

成長を支える都市インフラの整備

【くらし】働きやすく住みやすい、健康で快適な質の高いくらしの実現

【安全・安心】経済とくらしを支える安全・安心な基盤整備



世界の課題解決に貢献し、誰もが輝く活力ある大阪の実現

大阪・関西万博の成功



日本の成長をけん引する東西二極の一極となる「副首都・大阪」を確立・発展

## 5. 今後のスケジュール

- ・今後、パブリックコメント等を経て、年内を目途に成案化する予定。
- ・来年以降、戦略に基づき具体的取組みを推進。